

6. 災害や防犯対策について

問 26 災害への備え

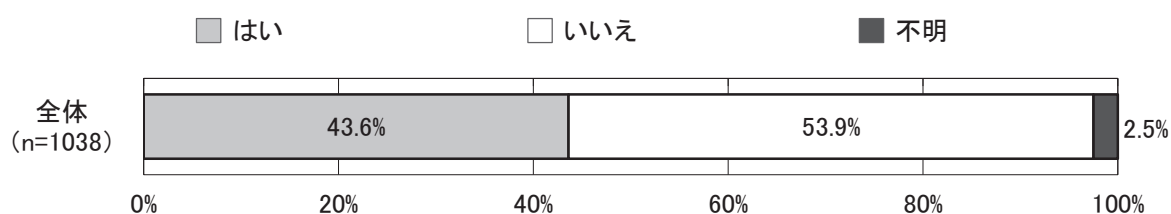
問 26 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

1. はい

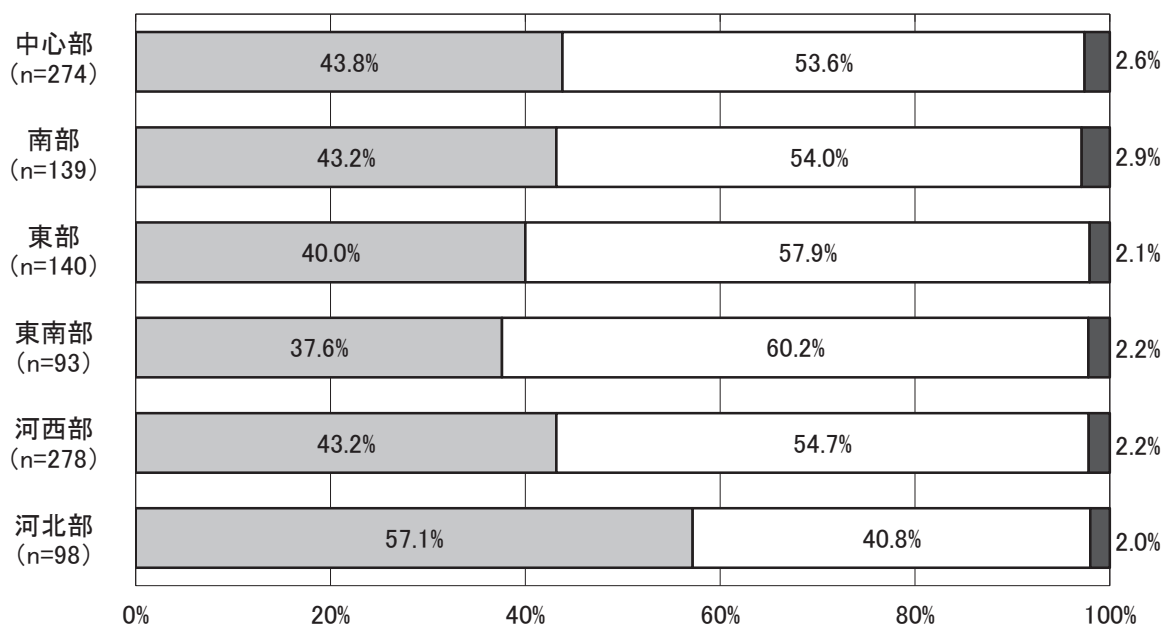
2. いいえ

災害に対する備えの実施は、「いいえ」が53.9%となっており、「はい」(43.6%)を上回る。地域別にみると、実施率は河北部(57.1%)が最も高く、他の地域は半数を下回っている。

年代別にみると、実施率は40～49歳(50.0%)が最も高い。20～29歳は最も実施率が低く、28.9%となっている。

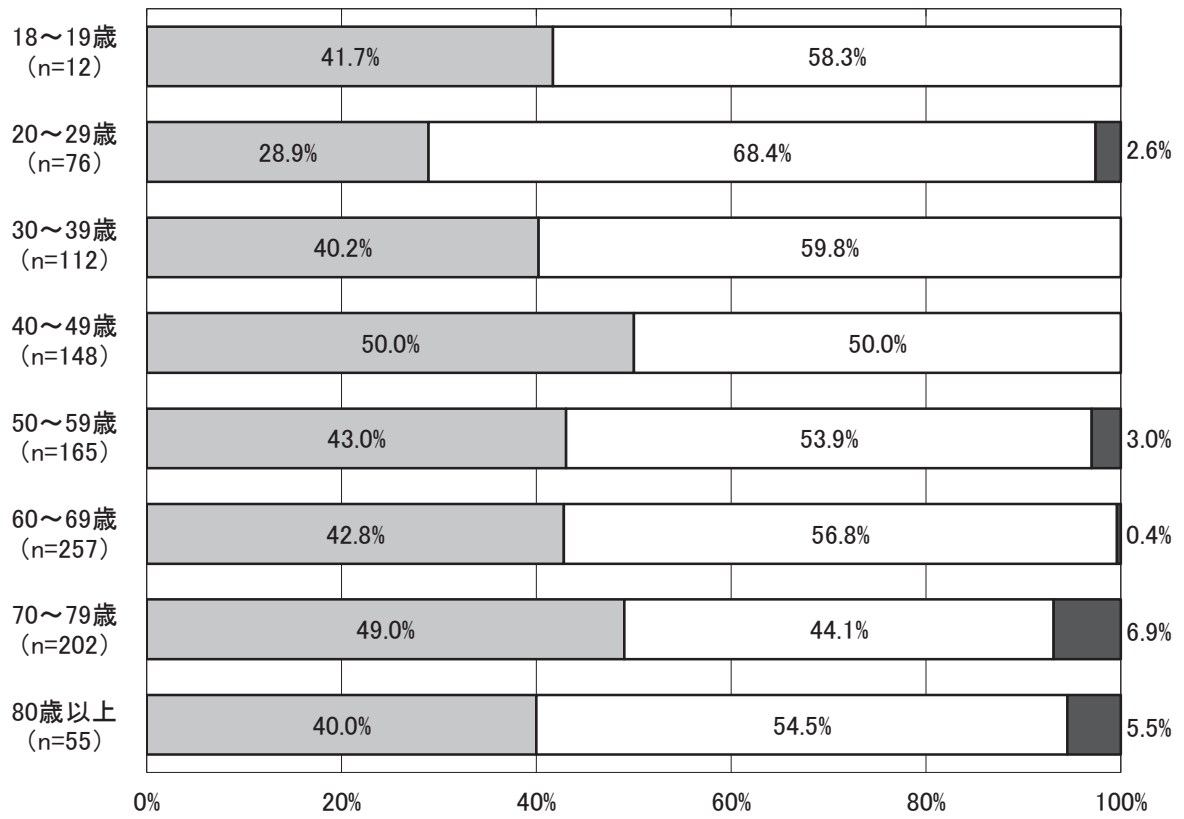


<地域別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



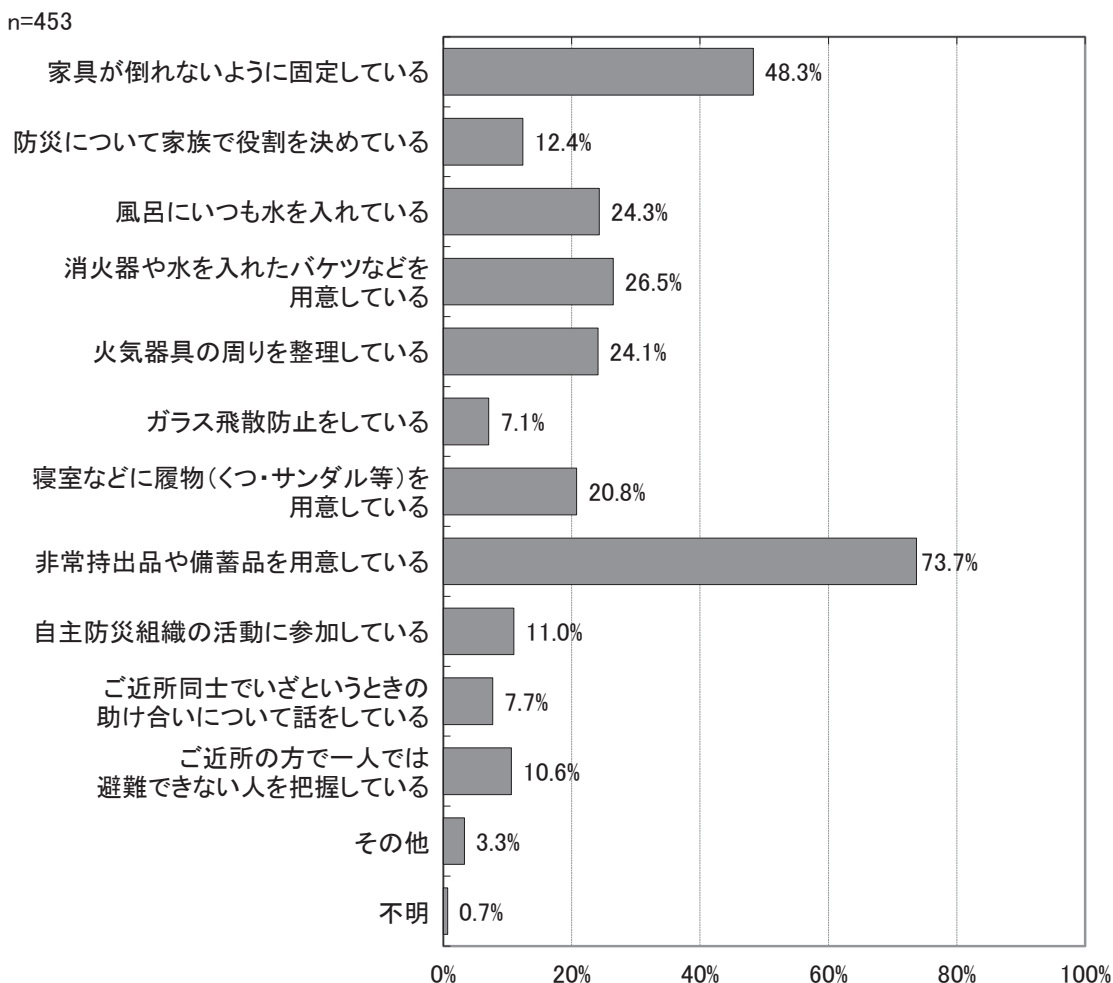
問 26-1 災害に備えていること

問 26-1 問 26 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している | 11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | |
| 6. ガラス飛散防止をしている | |
| 7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している | 12. その他（ ） |

問 26 で「1. はい」と回答した 453 人について、災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」が 73.7%と最も高く、次いで「家具が倒れないように固定している」（48.3%）、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」（26.5%）、「風呂にいつも水を入れている」（24.3%）、「火気器具の周りを整理している」（24.1%）、「寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している」（20.8%）の順となっている。



その他：「避難場所の確認」、「倒れてきそうな大型家具は必要最低限にしている」、「上に物を積み上げない」など

問 27 避難場所の認知度

問 27 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

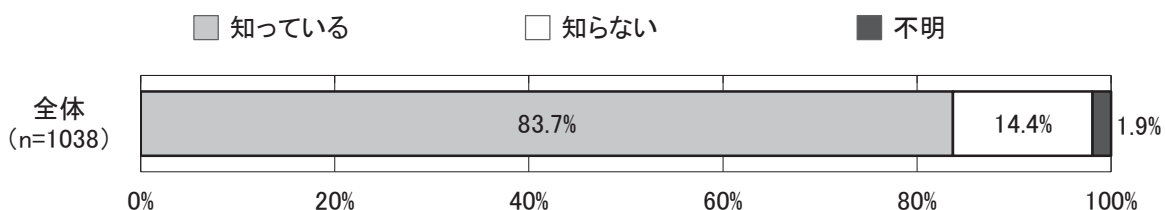
1. 知っている

2. 知らない

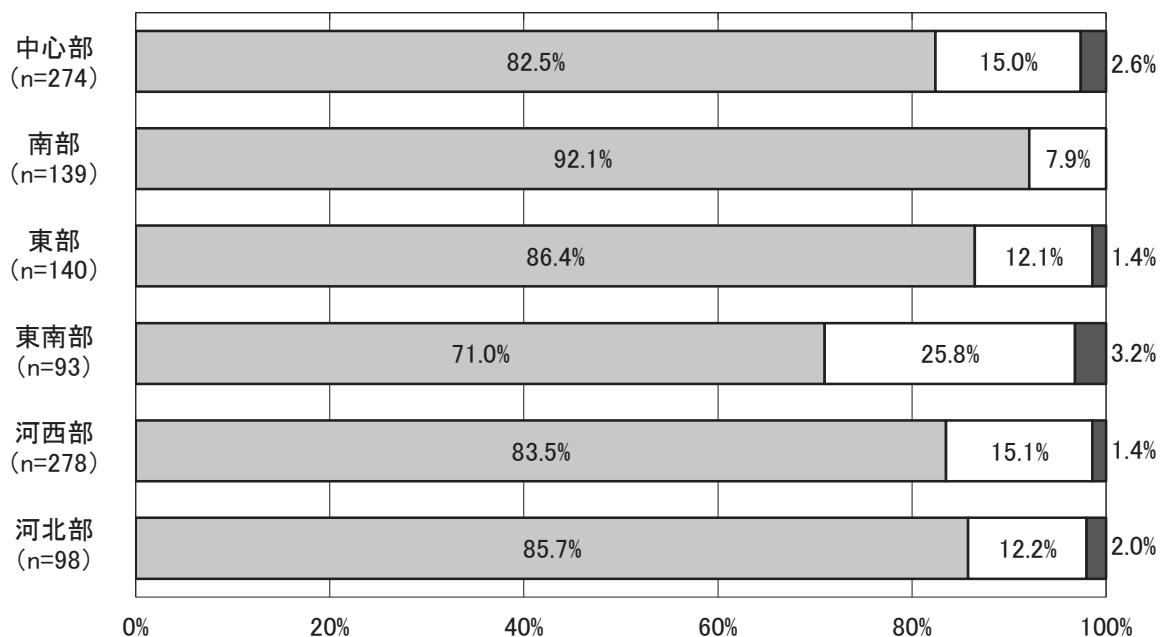
避難場所について、「知っている」が 83.7%、「知らない」が 14.4%となっている。

地域別にみると、認知率が最も高いのは南部で 92.1%、最も低いのは東南部で 71.0%となっている。

年代別にみると、39 歳以下で認知率が 8 割を下回っている。

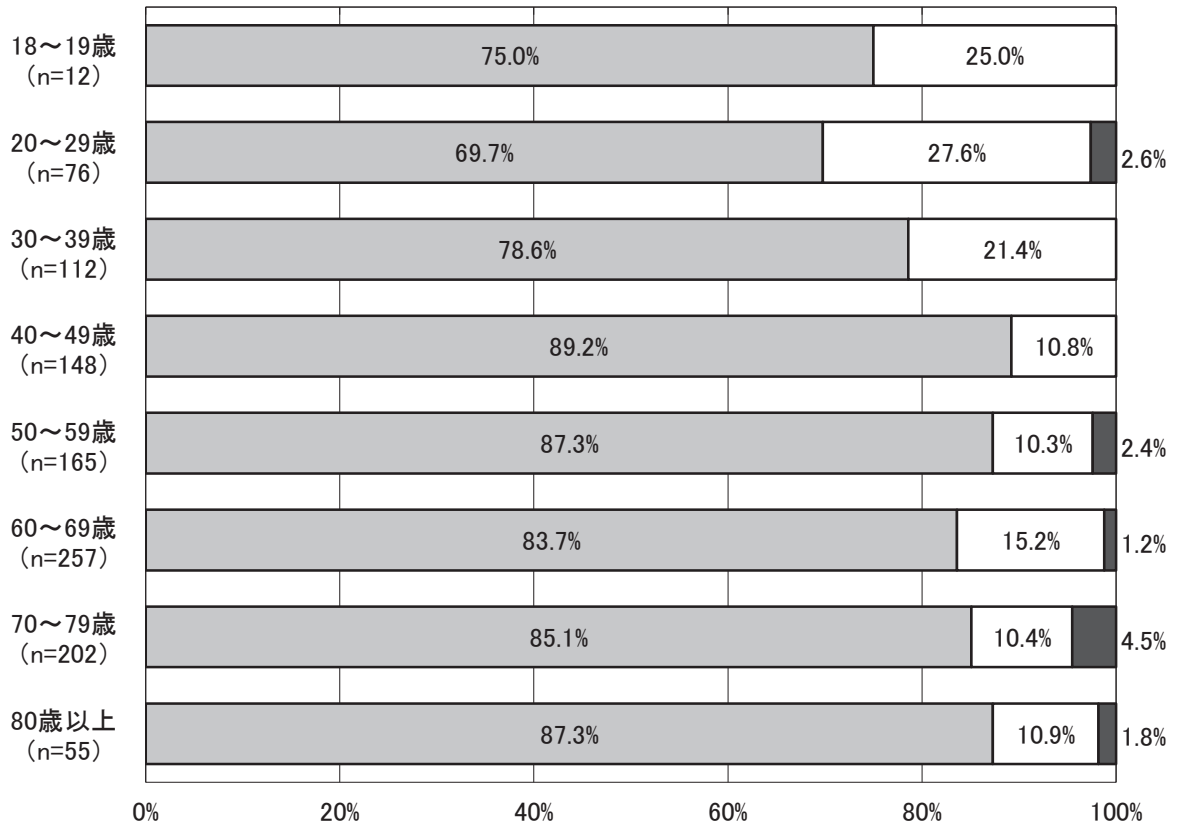


<地域別>



■ 知っている □ 知らない ■ 不明

<年代別>

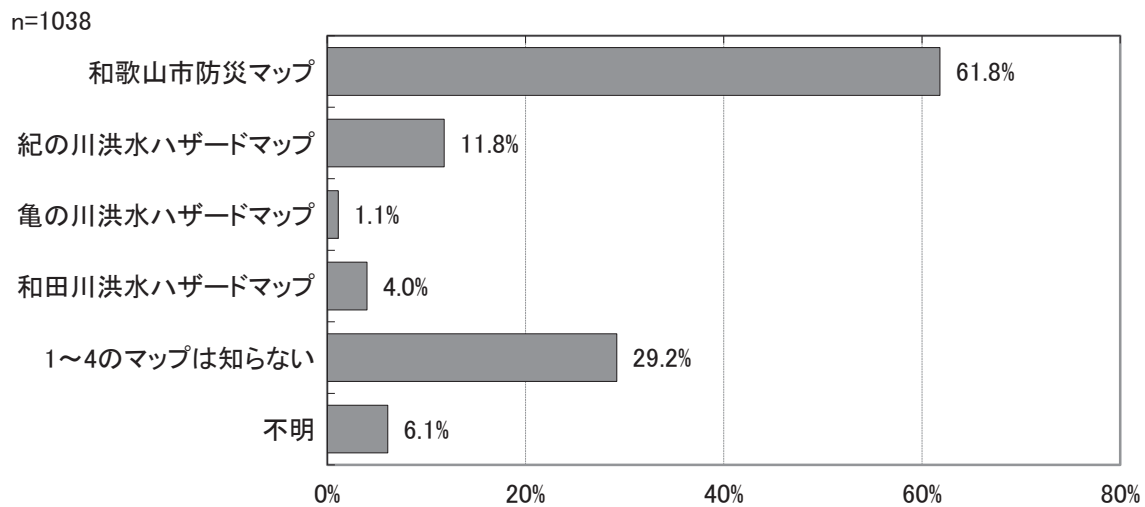


問 28 ハザードマップの認知度

問 28 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 61.8%と最も多い。「1～4のマップは知らない」は 29.2%となっている。

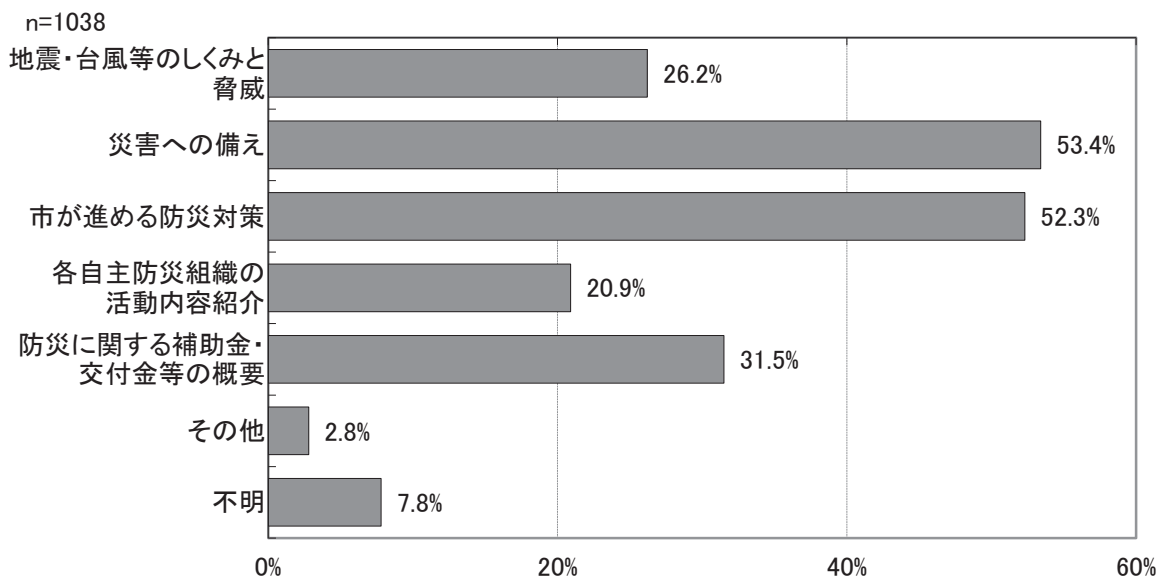


問 29 掲載してほしい防災情報

問 29 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 地震・台風等のしくみと脅威 | 4. 各自主防災組織の活動内容紹介 |
| 2. 災害への備え | 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要 |
| 3. 市が進める防災対策 | 6. その他 () |

掲載してほしい防災情報は、「災害への備え」(53.4%)、「市が進める防災対策」(52.3%)が半数を超えている。「防災に関する補助金・交付金等の概要」(31.5%)も高めとなっている。



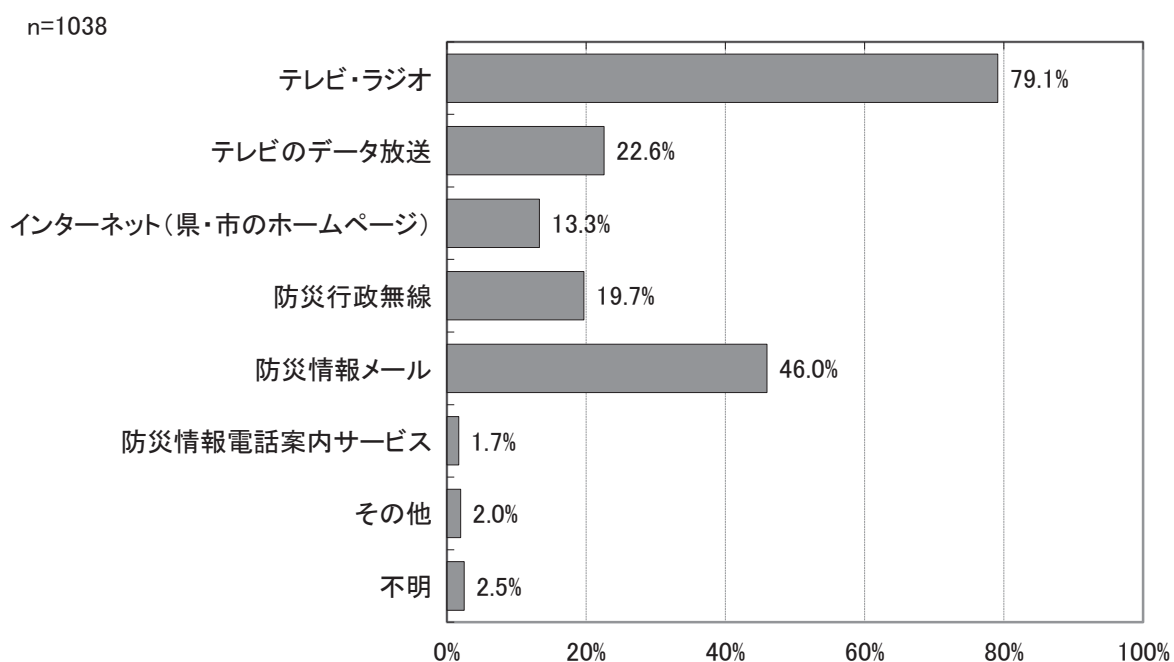
その他：「ホームページを見ることができない」、「市報わかやまが届いていない」、「避難場所の表示」、「どこへ避難したらどういう備えがあるか」、「医療関係の防災対策や訓練の様子」など

問 31 災害時の情報源

問 31 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. テレビ・ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット(県・市のホームページ)
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他 ()

災害時の情報源は「テレビ・ラジオ」が79.1%と最も高く、次いで「防災情報メール」(46.0%)、「テレビのデータ放送」(22.6%)、「防災行政無線」(19.7%)の順となっている。



その他：「スマートフォン・携帯」、「アプリケーション」、「地域の放送」、「緊急地震速報」など

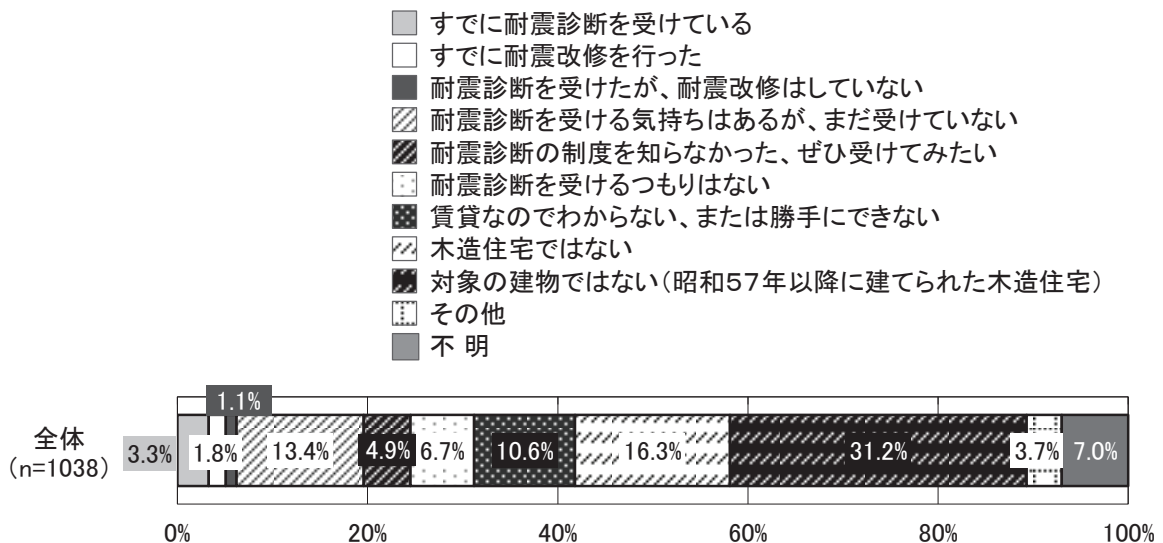
問 32 木造住宅耐震診断の受診状況

問 32 和歌山市では昭和 56 年（1981 年）以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断についてお答えください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 木造住宅ではない
9. 対象の建物ではない（昭和 57 年以降に建てられた木造住宅である）
10. その他（ ）

木造住宅耐震診断の受診状況は「対象の建物ではない（昭和 57 年以降に建てられた木造住宅）」（31.2%）、「木造住宅ではない」（16.3%）など対象外を除くと、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」が 13.4%、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」が 10.6%となっている。

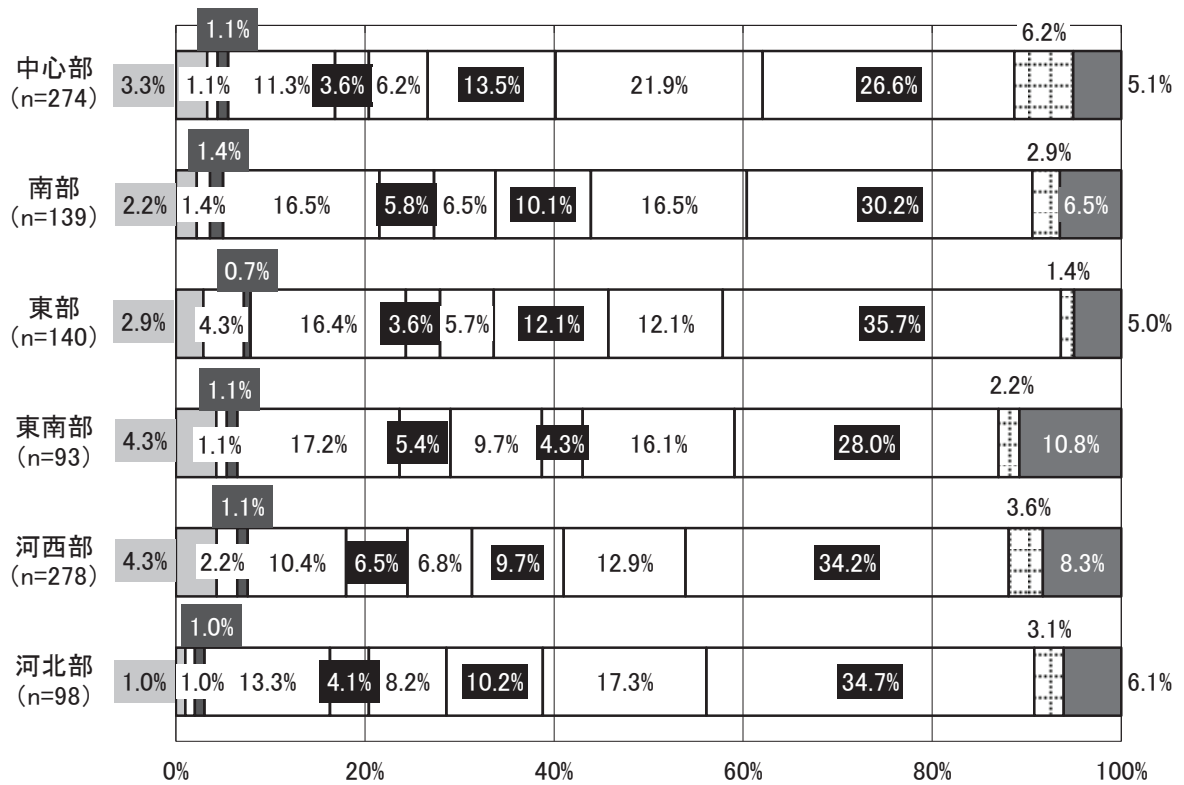
地域別にみると、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」は東南部で 17.2%、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」は中心部で 13.5%と、他の地域より高めとなっている。



その他：「集合住宅だから」、「県営住宅だから」、「所有者ではないから」、「新築だから」、「知らなかった」、「分からない」など

- すでに耐震診断を受けている
- すでに耐震改修を行った
- 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
- ▨ 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
- ▩ 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
- ▧ 耐震診断を受けるつもりはない
- 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
- ▨ 木造住宅ではない
- 対象の建物ではない(昭和57年以降に建てられた木造住宅)
- ▨ その他
- 不明

<地域別>

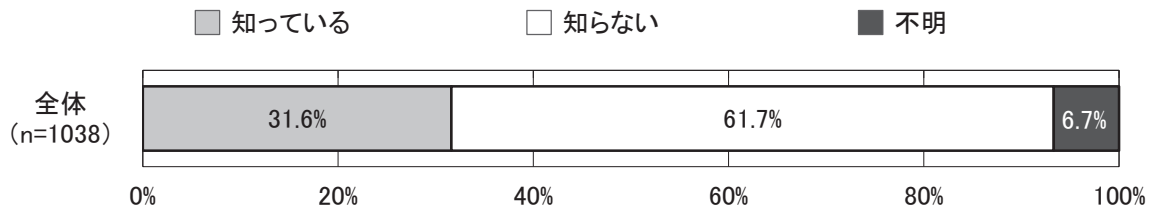


問 33 耐震改修費補助制度の認知

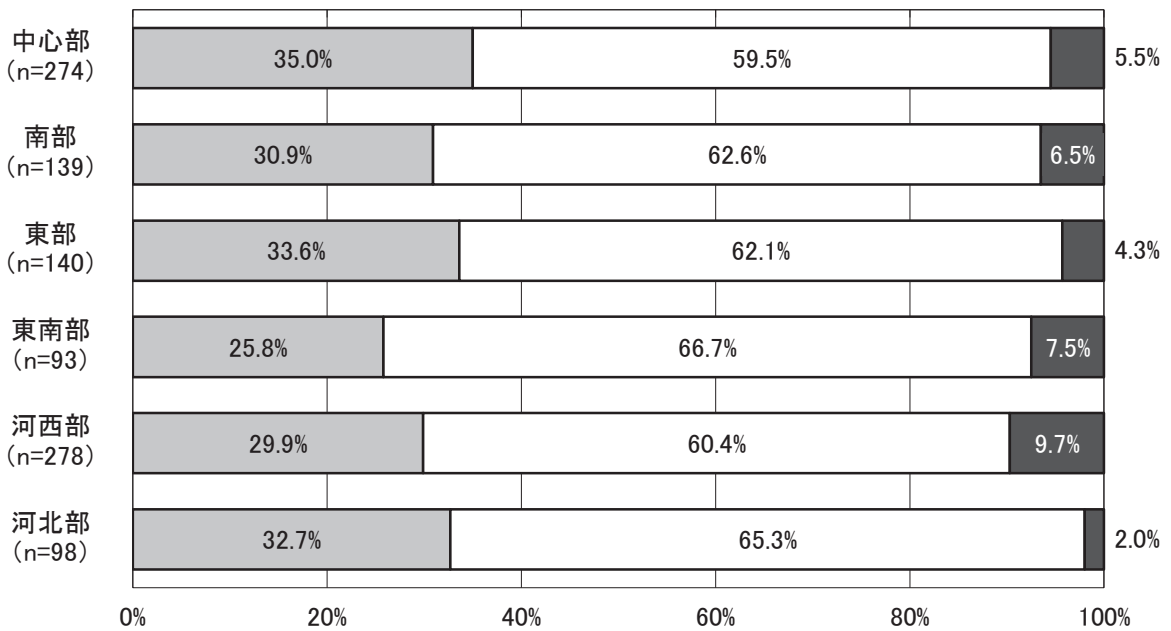
問 33 耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された戸建て住宅、長屋及び共同住宅について、基準を満たす耐震改修を行った場合、耐震改修費（設計・工事・リフォーム）の一部を補助する制度があるのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

耐震改修費補助制度の認知状況は、「知っている」が31.6%、「知らない」が61.7%となっている。地域別にみると、中心部の認知率が最も高く、35.0%となっている。



<地域別>



問 34-1 「住宅用火災警報器」の設置義務についての認知度

問 34-1 問 34 で「2. 設置していない」と回答された方のみお答えください。

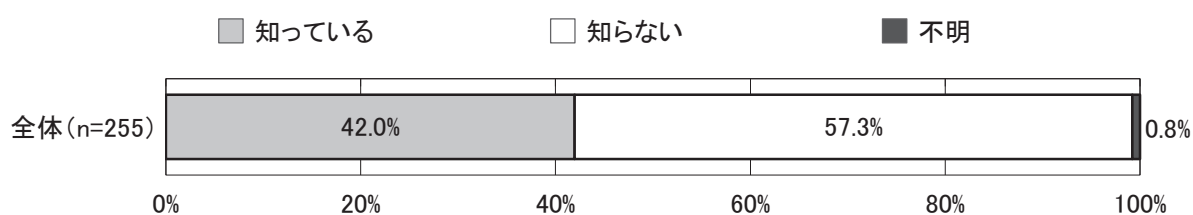
和歌山市では、すべての住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられていることを知っていますか？

1. 知っている

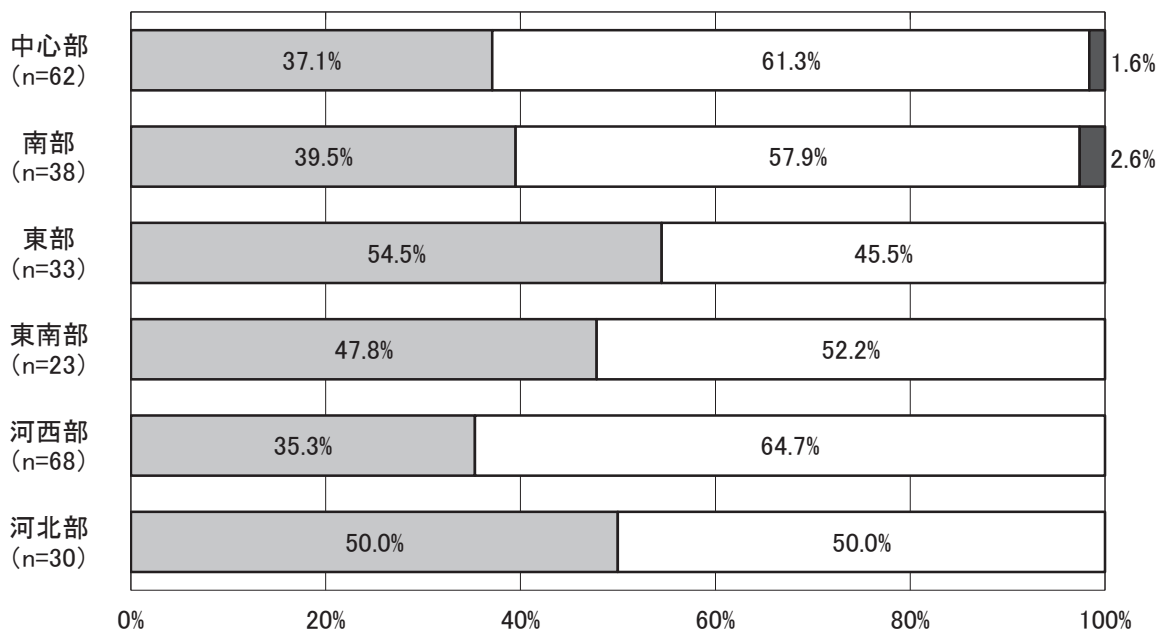
2. 知らない

「住宅用火災警報器」の設置義務の認知状況は、「知らない」が 57.3%で、「知っている」(42.0%)を上回っている。

地域別にみると、「知っている」が東部(54.5%)、河北部(50.0%)で高めとなっており、河西部(35.3%)が低めとなっている。



<地域別>



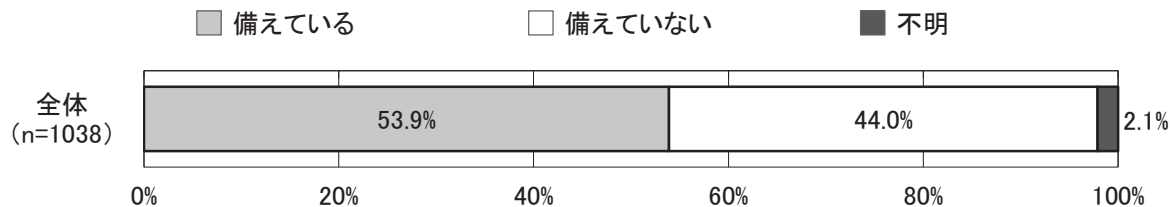
問 35 消火器設置の有無

問 35 あなたは、火災に備えて自宅に「消火器」を備えていますか？

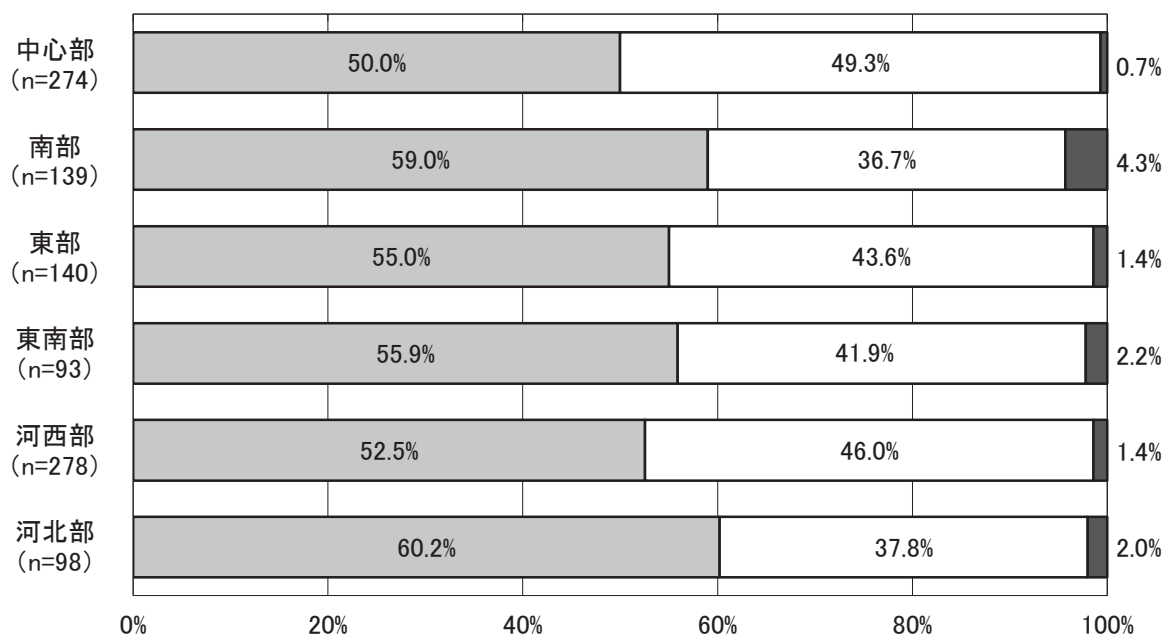
1. 備えている

2. 備えていない

消火器の設置状況は、「備えている」が 53.9%、「備えていない」(44.0%) となっている。
全地域で「備えている」が 50%を超えている。



<地域別>



問 36 消火器廃棄方法の認知

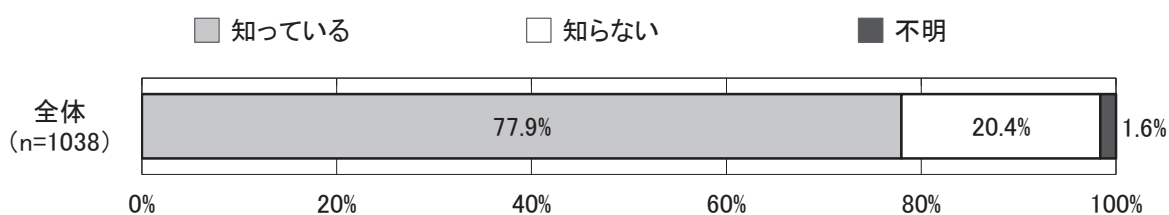
問 36 あなたは、消火器が一般のゴミとして捨てられないことを知っていますか。

※ 古くなった消火器を廃棄するときは、リサイクルシールを貼り、特定窓口（消火器販売店等）か指定引取場所へ持っていかなくてはなりません。

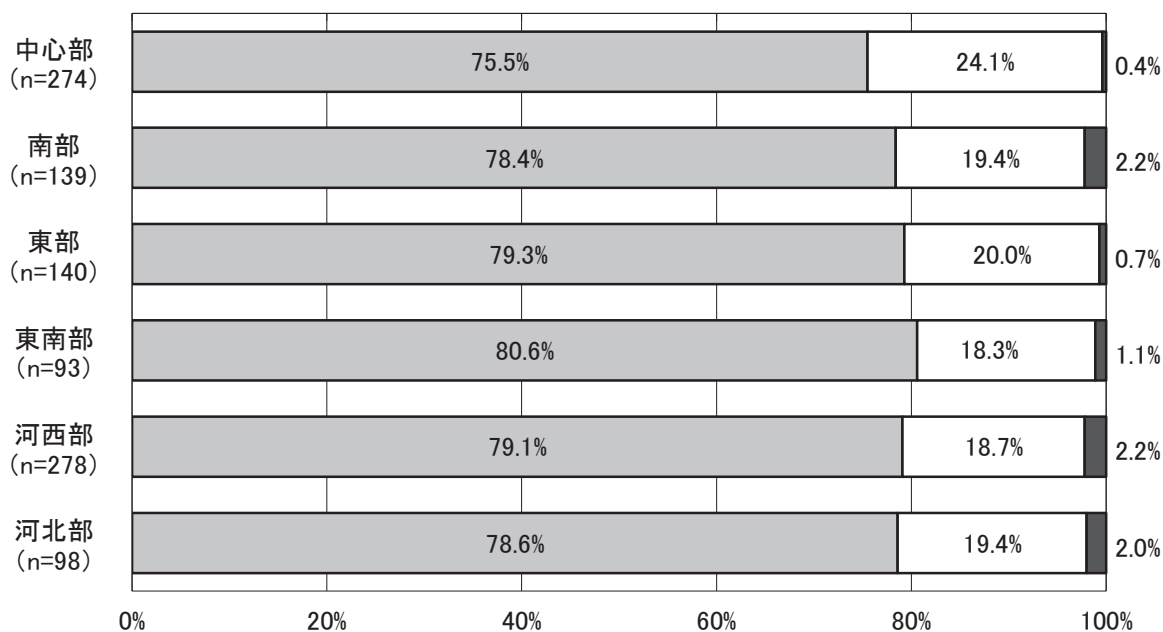
1. 知っている

2. 知らない

消火器廃棄方法の認知状況は、「知っている」が77.9%、「知らない」が20.4%となっている。地域別にみると、「知らない」が中心部（24.1%）でやや高めとなっている。



<地域別>



問 37 和歌山市の治安状況

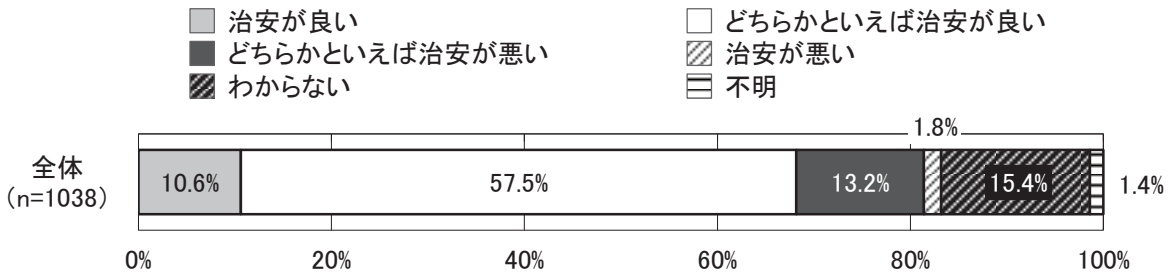
問 37 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

- 1. 治安が良い
- 2. どちらかといえば治安が良い
- 3. どちらかといえば治安が悪い
- 4. 治安が悪い
- 5. わからない

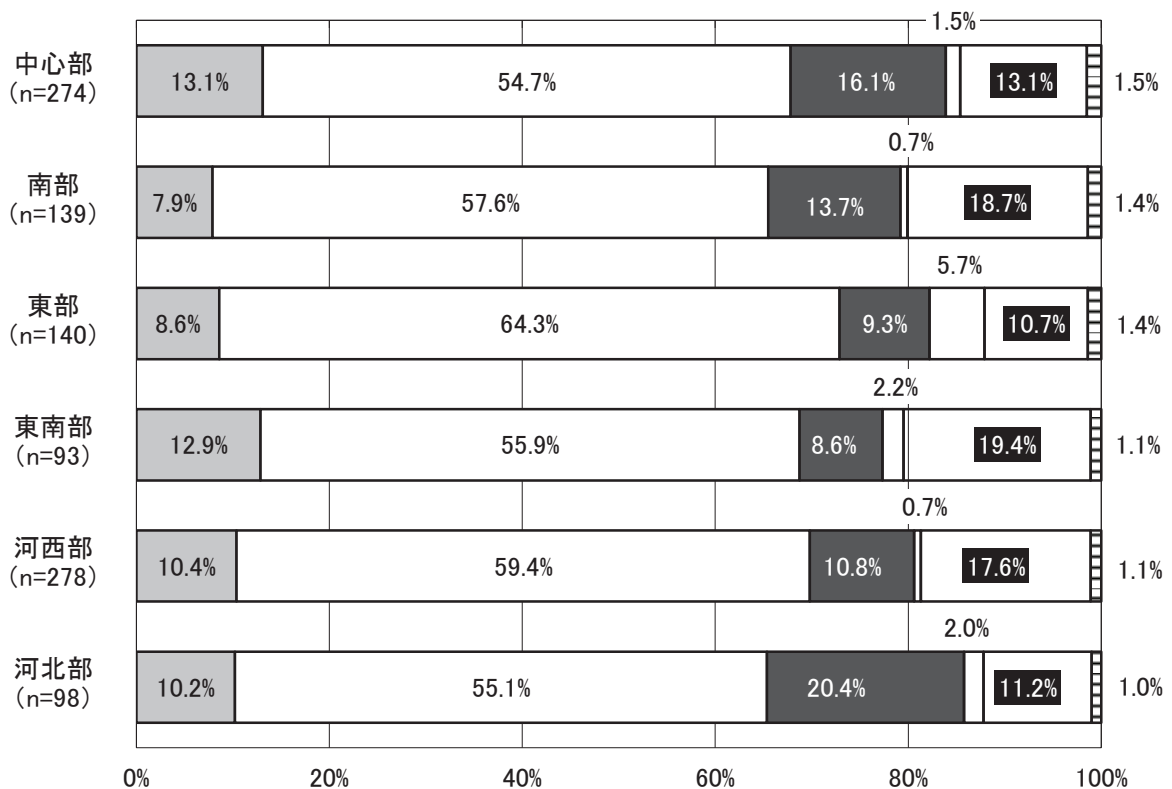
和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(10.6%)と「どちらかといえば治安が良い」(57.5%)をあわせた68.1%は治安が良いと感じており、「どちらかといえば治安が悪い」(13.2%)と「治安が悪い」(1.8%)を合わせた15.0%は治安が悪いと感じている。

地域別にみると、治安が良いと感じている比率は東部(72.9%)で最も高く、治安が悪いと感じている比率は河北部(22.4%)で最も高くなっている。

年代別にみると、治安が良いと感じている比率は80歳以上(72.7%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は18~19歳(25.0%)が最も高く、次いで30~39歳(21.5%)となっている。



<地域別>



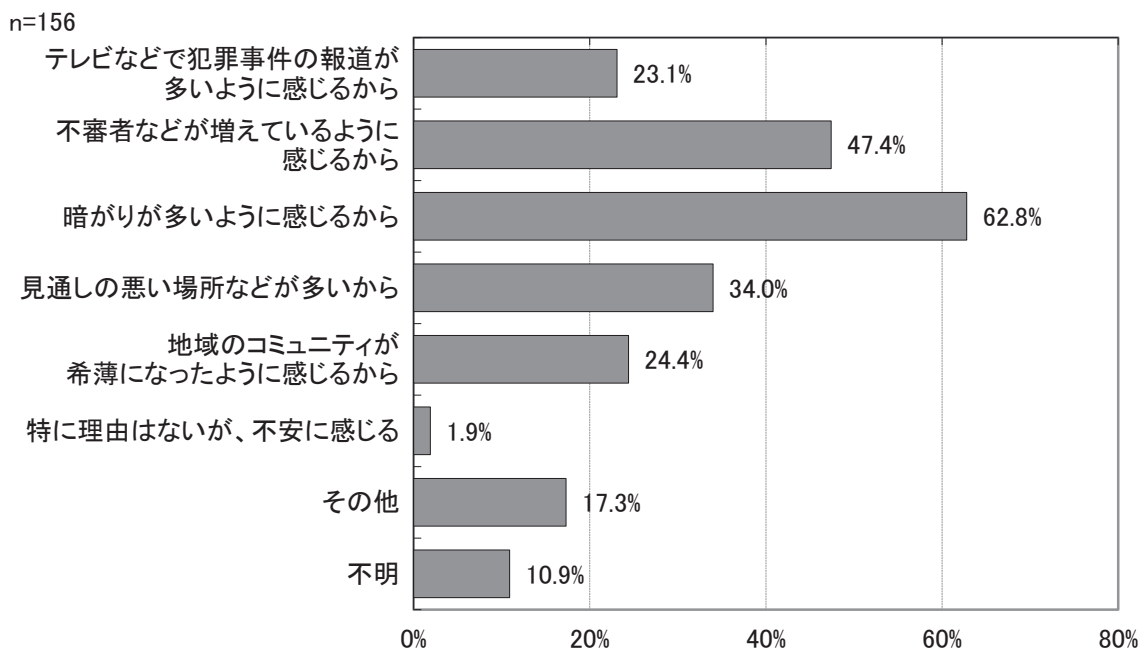
問 37-1 治安が悪いと感じる理由

問 37-1 問 37 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。

あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？つぎの中からあてはまるものをすべてお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ()

問 37 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」と回答した 156 人について、治安が悪いと感じる理由は、「暗がりが多いように感じるから」が 62.8%と最も多く、次いで「不審者などが増えているように感じるから」(47.4%)、「見通しの悪い場所などが多いから」(34.0%)の順となっている。



その他：「物が盗まれたり、いたずらが多い」、「空き家の多さ」、「モラルの低さを感じる」、「夜中に暴走している人がいる」など

問 38 犯罪被害に遭わないための心がけ

問 38 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか？つぎの中からあてはまるものをすべてお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他
15. 特に何もしていない

犯罪被害に遭わないための心がけは、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」が 67.8%と最も多く、次いで「被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(50.0%)、「自動車内には荷物を置かないようしている」(41.5%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(40.5%)の順となっている。

n=1038

